

平成 29 年度

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況

美里町企画情報課

(1) 趣旨・目的

本町では、「美里町人口ビジョン」で示した本町が抱える地域課題解決のため、まち・ひと・しごと創生の方針を踏まえ、新たなまちづくりに踏み出していくための指針として平成27年を初年度とし平成31年度を目標年度とする「美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」を策定しました。

総合戦略は、町民、地域、団体、企業、行政など町全体で共有し、協働して推進する計画であるため、計画策定（Plan）、推進（Do）、点検・評価（Check）、改善（Action）の各過程においても、町全体が関わる体制を構築し、高い実効性を確保することが必要となります。

そこで、町内各界各層とともに推進・検証していくため、各界各層の代表者から構成される「美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会」を設置し、総合戦略の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の進捗状況を客観的に把握・検証することで、総合戦略の各施策の見直しにつなげていきます。また、二元代表制の両輪となる町議会においても、効果検証において参画して頂くものとします。

(2) 総合戦略 施策の体系

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「しごと」が「ひと」を呼び込み、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を生み出し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻すために、国と熊本県の総合戦略を踏まえて、次の4つの目標の下に29の施策を展開しています。

基本目標1

基幹産業を再生するとともに、安定した雇用を創出する

1. 農業の再生

- (1) 担い手の育成と経営基盤づくり
- (2) 魅力ある特産品づくり
- (3) 流通・販売の支援

2. 未来へつなぐ林業の育成

- (1) 林業従事者の育成
- (2) 民有林再生化の推進

3. 観光を軸とした産業育成と商工業の育成支援

- (1) 観光を軸とした産業の育成
- (2) 商工業の育成支援
- (3) 多種多様な企業の誘致推進

基本目標2

美里町への新しいひとの流れをつくる

1. 空き家の利活用による移住促進

- (1) 空き家バンクの整備と有効活用 (2) 空き店舗の再利用促進

2. 移住（希望）者への支援充実と情報発信強化

- (1) 移住者の負担軽減支援 (2) 移住希望者のサポート強化
(3) 魅力の情報発信強化

3. 若者世代の定住促進

- (1) 若者のニーズに対応した住環境の提供
(2) 3世代同居の奨励

基本目標3

結婚・出産・子育ての地に選ばれる環境をつくる

1. 結婚活動の支援

- (1) 出会いの場の機会創出 (2) 結婚相談の環境整備

2. 安心して出産できる環境づくり

- (1) 不妊治療の支援充実 (2) 出生祝い金の支給

3. 子育て環境の充実

- (1) 子育て家庭への支援の充実 (2) 保育サービスの充実

4. 確かな学力・豊かな心・たくましい体の育成

- (1) 幼・保・小・中の連携による一体的な教育
(2) 授業改善と学力の向上
(3) 特色ある学校づくりと地域との連携

基本目標4

時代に合った地域をつくり、暮らしやすいまちをつくる

1. 安全・安心な住環境の構築

- (1) 自主防災の強化
- (2) 見守りネットワークの構築

2. 暮らしやすいまちをつくり、広域的な連携を活用する

- (1) 利便性のある公共交通体系の整備
- (2) 広域連携の推進
- (3) 外部人材の活用

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況(平成29年度末現在)

基本目標	施策区分	指標	KPI基準値 (H26年度)	KPI目標値 (H31年度)	KPI実績 (H29年度)	進捗率 (%)	担当課評価・意見等	今後の実施方針・予定	備考
基本目標1 基幹産業を再生するとともに、安定した雇用を創出する	1. 農業の再生	認定新規就農者数	5人	8人	7人	66.7	順調な進捗状況	現行の支援体制を継続する。	1人認定
		認定農業者数	83人	92人	79人	△ 44.4	予想を下回る進捗状況 新規認定もあったが、脱退者の増が予想よりペースが速かった。	制度の周知を強化し、現行の支援体制を継続する。	
		機械利用組合、営農組織数	13団体	25団体	23団体	83.3	予想を上回る進捗状況	現行の推進、支援体制を継続する。	1団体増
		リーダー育成講座受講者数	—	10人	23人	230.0	既に目標を達成 単年度の取り組みであり、その目標は達成した。	引き続き営農リーダーの育成と受講者のフォローを継続していく。	
		リーダー育成講座受講者による新商品開発等取組件数	—	2件	4件	200.0	既に目標を達成 単年度の取り組みであり、その目標であったため。	単年度の取り組みであったが、今後も引き続き受講者をフォローしていく。	
		新規特産品の数	—	2件	1件	50.0	順調な進捗状況	品目を精査検討し、新規導入を目指す。	H27:スナップエンドウ1件
		加工品の商品化数	—	2件	1件	50.0	順調な進捗状況	現行の支援体制を継続する。	H27:梨リキュール1件
		6次産業化した件数	1件	3件	2件	50.0	順調な進捗状況	現行の支援体制を継続する。	
		新規販売媒体数	—	2件	1件	50.0	順調な進捗状況	現行の支援体制を継続する。	
	2. 未来へつなぐ林業の育成	新規・Uターン就業者数	—	5名	0名	0.0	予想を下回る進捗状況 林地で生計を営むには、数年の時間を要するため、新規の林業就業希望者が少ない状況にある。	県や森林組合等の関係機関と連携し、林家の育成やインターシップ事業を活用し新規就業希望者の掘り起しを行っていく。	

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況(平成29年度末現在)

基本目標	施策区分	指標	KPI基準値 (H26年度)	KPI目標値 (H31年度)	KPI実績 (H29年度)	進捗率 (%)	担当課評価・意見等	今後の実施方針・予定	備考
基本目標1 基幹産業を再生するとともに、安定した雇用を創出する	3. 観光を軸とした産業育成と商工業の育成支援	誘致企業数(新規)	—	2件	1件	50.0	順調な進捗状況 H28に1件の企業誘致を行ったがH29は0件であった。H30又はH31に1件誘致することで、目標値に達する。	製造業ばかりでなく、サテライトオフィスをはじめとした小規模事業所の受け入れ環境を整え、積極的に企業立地セミナー等へ参画する。	H28に企業立地協定を1件締結
基本目標2 美里町への新しいひとの流れをつくる	1. 空き家の利活用による移住促進	空き家バンクの登録件数	—	20件	13件	65.0	予想より低調な進捗状況 H27:1件、H28:4件の登録を行った。登録が進まないのは、物件の老朽化度が著しいことや所有者等への広報不足が影響していると思われる。	所有者等への理解促進策として、年度当初の固定資産税納税通知書に広報用チラシ等を同封することにより広く周知を図る。	
		空き家バンクによる契約成立件数	—	5件	5件	100.0	順調な進捗状況 H27:1件、H28:2件の成約で、この状況であるとH31のKPIを達成するペースである。	物件登録が増えることで、成約件数も増えると予想される。	
	2. 移住(希望)者への支援充実と情報発信強化	移住者の経済的負担軽減支援件数	—	5件	4件	80.0	順調な進捗状況 H29に制度を開始し、改修費:1件、不要物撤去費:1件、家賃:1件、購入費:1件に対する補助を執行した。	空き家バンクによる移住者等を中心に、経済的負担軽減の支援を実施する。	
		移住希望世帯数(累計)(移住希望相談件数)	—	23件	40件	173.9	順調な進捗状況 H27:3件、H28:11件、H29:26件の相談があった。H29の26件のうち空き家に関する相談が24件、移住者への支援に関するものが2件であった。相談で終わることなくアフターフォローにも努める必要がある。	ホームページ、移住相談会等を利用し、移住に関する情報発信を図る。	
		移住体験施設の利用件数	—	2件	0件	0.0	順調な進捗状況 移住体験施設の制度、運営方法等について、検討・構築中である。	移住体験施設を整備・運営し、利用を通して移住者の増加を図る。	
		移住者向け冊子作成数	—	1,000部	1,000部	100.0	既に目標を達成 H29に内容を一部改訂し1,000部増刷した。移住相談会等で活用している。	今後も必要に応じて改訂増刷を行い利用を促進する。	

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況(平成29年度末現在)

基本目標	施策区分	指標	KPI基準値 (H26年度)	KPI目標値 (H31年度)	KPI実績 (H29年度)	進捗率 (%)	担当課評価・意見等	今後の実施方針・予定	備考
基本目標2 美里町への新しい ひとの流れをつくる	2. 移住(希望)者への支援充実と情報発信強化	移住ホームページのアクセス数(年間)	—	8,000回	5,198回	65.0	予想を下回る進捗状況 移住相談会開催案内や地域おこし協力隊員の紹介などページ更新を行いながら情報発信を行ったものの、目標値を達成することはできなかった。	今後は、空き家バンクの登録促進等に伴うページ更新回数増によるアクセス数増加を目指す。	
	3. 若者世代の定住促進	公営住宅の若年層世帯主世帯の割合	14%	16%	1.6%	0.1	予想を下回る進捗状況 加齢による非若年層化や、非若年層の新規入居により、KPIを下回った状況にある。	世帯形態(若年層・単身・ひとり親世帯)を考慮した住宅を供給するように計画する予定。	若年層の入居状況 190世帯中3世帯
		定住促進団地の若年層世帯主世帯の新規入居者	—	3世帯	0世帯	0.0	順調な進捗状況 H28くすのき平定住促進団地を譲渡できるように美里町定住促進住宅団地貸付に関する条例及び規則を改正し、H29年度に譲渡募集を行った結果、2区画の譲渡契約を行った。世帯主は若年層ではなかったが、その子供のJターンに期待したい。	くすのき平団地残りの4区画については随時募集を行い、積極的に周知を図っていく。	
基本目標3 結婚・出産・子育ての地に選ばれる環境をつくる	1. 結婚活動の支援	縁結びサポーターによる見合い仲介回数	—	20件	1件	5.0	予想を下回る進捗状況 H29年度末までに1件の仲介が行われた。	H28年度中に創設した結婚希望者の登録制度における登録を促進し、同時に縁結びサポーターの育成に努めることで、見合い仲介を積極的に推進する。	
		婚活イベント参加者数(延べ人数)	—	300人	168人	56.0	予想を下回る進捗状況 H29年度は3回開催。町内の男性の参加者も少ないし、当日キャンセルなども多い。	継続的にイベントを開催するとともに、イベント内容の魅力化を行い、募集定員を満たす積極的な参加募集を行う。また、カップル成立の増加を図るためイベント内容を工夫する。	
		婚活イベントでのカップル成立数	—	25組	14組	56.0	予想を上回る進捗状況 H29年度はイベントを3回開催し、1組のカップルの成立があったものの、結婚には至っていない。	イベント内容を工夫するとともに、カップル成立者への継続的な支援及び経過の確認を行う。	

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況(平成29年度末現在)

基本目標	施策区分	指標	KPI基準値 (H26年度)	KPI目標値 (H31年度)	KPI実績 (H29年度)	進捗率 (%)	担当課評価・意見等	今後の実施方針・予定	備考
基本目標3 結婚・出産・子育ての地に選ばれる環境をつくる	1. 結婚活動の支援	婚活イベントや縁結びサポーターによる結婚成立数	—	5組	0組	0.0	予想を下回る進捗状況 イベントによるカップル成立があるものの、結婚には至っていない。	カップル成立者への継続的な経過確認と、縁結びサポーターが活動しやすい環境整備を行う。	
	2. 安心して出産できる環境づくり	妊娠届の届出数(年間)	58件	59件	49件	50.8	予想を下回る進捗状況 これまで、年度により波はあったが、近年は減少傾向にある。	H28年度から開始した不妊治療費助成制度など各種の支援制度により、出産希望者や親の経済的負担の軽減を図り、安心して出産できる環境づくりに努める。	
		出生祝い金の支給件数(年間)	10件	10件	12件	120.0	予想を上回る進捗状況 今後も引き続き子育て家庭への相談体制や経済的支援の充実に取り組んでいく。	年度による偏りはあるが、単年では10件程度と見込んでいる。今後も出産や子育てに関する支援制度を積極的に情報提供する。	H26:10件 H27:22件 H28:13件
	3. 子育て環境の充実	子ども医療費助成額(年額)	14,367,772円	25,146,000円	32,729,923円	130.2	順調な進捗状況	H28年度より導入した制度を継続し、子育て世帯の支援を図っていく。	
		待機児童数	0人	0人	0人	—	順調な進捗状況	今後も待機児童が出ないように、出生数や転入状況等を注視し、関係機関と連携した取り組みを行う。	
		延長保育利用者数(年間)	166人日	138人日	178人	129.0	順調な進捗状況	今後も継続した取り組みを行い、適切な情報提供を行う。	
		病児・病後児保育利用者数(年間)	—	426人日	27人	6.3	順調な進捗状況	今後も継続した取り組みを行い、適切な情報提供を行う。	
	4. 確かな学力・豊かな心・たくましい体の育成	学習支援員等数	7人	8人	9人	112.5	既に目標を達成した。	今後も継続的に実施する。	
		コミュニティ・スクール等への取り組み学校数	—	2校	5校	250.0	既に目標を達成した。	熊本版コミュニティ・スクールを全校実施。	

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況(平成29年度末現在)

基本目標	施策区分	指標	KPI基準値 (H26年度)	KPI目標値 (H31年度)	KPI実績 (H29年度)	進捗率 (%)	担当課評価・意見等	今後の実施方針・予定	備考
基本目標4 時代に合った地域をつくり、暮らしやすいまちをつくる	1. 安全・安心な住環境の構築	自主防災組織数	17件	52件	49件	91.4	順調な進捗状況 熊本地震及び最近の豪雨災害の影響により、防災への意識が高まりつつあると思われるので、少しずつではあるが、組織の設立が進んでいる。	熊本地震及び最近の豪雨災害からみても分かるように、「自助・共助」が大切であることへの理解を高めるよう意識啓発を行っていく。	
		認知症サポーターの養成人数	1,543人	1,950人	2,041人	104.7	予想を上回る進捗状況	今後も、現在の事業計画を基に実施していく。	
		介護予防インストラクター養成人数	—	40人	32人	80.0	予想を上回る進捗状況 H27年度は20人を目標にしていた。	今後も、現在の事業計画を基に実施していく。	
	2. 暮らしやすいまちをつくり、広域的な連携を活用する	町内完結公共交通機関述べ利用者数(年間)	11,691人	14,200人	7,914人	55.7	予想を下回る進捗状況 町内完結公共交通については、乗客が年々減少している。	各集落から乗り継ぎ拠点に結節する交通手段の充実を図るなど利便性を高めた美里バスを10月1日から運行する。それと併せて、乗り方教室などの利用促進策を実施していく。	
		広域市町村参加の移住相談会の参加回数(年間)	—	2回	3回	150.0	既に目標を達成した H29年度は東京会場2回と福岡会場1回に参加し、移住希望者への相談に対しては、冊子、動画等を活用し対応した。	今後も引き続き都市部での相談会に参加するとともに、移住希望者の本町移住に繋がるよう相談対応の方法を工夫するよう努める。	
		観光等における広域連携事業の実施(年間)	2回	2回	2回	100.0	既に目標を達成 今年度も宇城地域及び、緑川流域において連携した事業を行うことができた。	今後も、積極的に連携事業を推進していく	
		広域観光ルート(エリア)の開発数	—	3箇所	0箇所	0.0	予想を下回る進捗状況 新規の観光ルート(エリア)の開発はできていないが、各構成市町イベントへの誘客を図るためイベントラリー等を実施し観光ルートの設定ができたことは実績としては評価できた。	近隣市町村と協力し、新たにルート及びエリアの開発を進めていく。	

美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況(平成29年度末現在)

基本目標	施策区分	指標	KPI基準値 (H26年度)	KPI目標値 (H31年度)	KPI実績 (H29年度)	進捗率 (%)	担当課評価・意見等	今後の実施方針・予定	備考
基本目標4 時代に合った地域をつくり、暮らしやすいまちをつくる	2. 暮らしやすいまちをつくり、広域的な連携を活用する	開発した広域観光ルート(エリア)の観光客数	—	550人	236人	42.9	予想を下回る進捗状況 宇城地域において56名、緑川流域において180名の集客だった。観光ルートを3箇所開発しPRすることができれば目標を達成できると考えられる。	新たな観光ルートの開発、またPRを行い観光客数を増やしていく。	
		域学連携による事業実施数	—	3回	4回	133.3	すでに目標達成している 美里町地域公共交通再編実施計画策定において、熊本学園大学からシニア客員教授に参画いただいた。また同大学学生によるフィールドワーク演習、町内公共施設内のストリートビュー撮影、ICT人材育成講座等を実施した。今後も引き続き大学等の専門知見を活用するとともに学生の意見を聞く場を設ける。	大学等が持つ専門的見地や学生の活力など地域活性化や地域課題の解決に活かしていくよう努める。	H27年度熊本学園大学と包括的連携協定を締結している。また、行政が直接関与していない交流事業等も実施されている。
		地域おこし協力隊の委嘱人数(期間累計)	—	10人	4人	40.0	順調な進捗状況 H30年1月末で2名の協力隊が任期を終了するが。新たに2名募集し委嘱予定である。今後も活動範囲や内容の拡充等を検討しながら、隊員の住居の確保という課題がある。	受け入れ先(行政区)の理解と、活動範囲や内容の拡充等を検討しながら、地域活性化を強化していく	

※進捗率の計算方法

単年実績の進捗率: KPI実績 / KPI目標値 (網掛け項目)

累積実績の進捗率: (KPI実績 - KPI基準値) / (KPI目標値 - KPI基準値)